

# やちまた

# 第4号

# 文化財ボランティア通信

—平成22年3月—

この通信を創刊してから2年目、このたび第4号を発行することができました。

八街市教育委員会が推進する文化財保護・活用・継承のための市民・行政協働事業の一環として、文化財ボランティアの最近の活動状況や文化財情報などをお知らせします。また、本号には、八街文化財同好会で活躍する会員の思い、房総の郷土芸能2009に出演した文違麦つき踊り保存会の活躍ぶりや季節の情報などを掲載しました。



まもなくカタクリが満開です!!

## ● 第3号以後の文化財ボランティア活動一覧

- 平成21年9月12日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑤〔八街文化財同好会10名、職員2名〕
- 平成21年10月10日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑥〔八街文化財同好会8名、職員2名〕
- 平成21年11月14日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑦〔八街文化財同好会7名、職員1名〕
- 平成21年12月12日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑧〔八街文化財同好会9名、職員2名〕
- 平成22年2月13日 予定の郷土資料館収蔵資料整備作業は雨天中止
- 平成22年3月13日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑨〔八街文化財同好会9名、職員1名〕

## 文化財ボランティアの近況

(平成21年度後期の登録者数は33名)

### 八街文化財同好会

(会員数14名：男性9名・女性5名)

平成20年7月から実施している郷土資料館収蔵資料の整備作業は、現在も継続中です。収蔵庫内に眠っている多くの民具は、普段、人の目には触れることはありませんが、多くの市民の皆様から寄贈された大切な生活用具や生産用具ですので、今後も、良好な状態で残していかなければなりません。そして、教育現場などで活用されることこそが文化財同好会の皆さんの願いでもあります。

同好会の皆さんの熱い思いと努力に感謝するばかりです。



## 新たな文化財ボランティア登録者

平成21年10月から11月にかけて、のべ5日間にわたり文化財ボランティア講座(市教育委員会主催)を開催したところ4名の方に受講いただきました。このうち、2名の方が新たに文化財ボランティアとして登録されました。

これまでの登録者は31名でしたので、合計33名となりました。



平成21年度文化財ボランティア講座のようす

## 郷土資料館職員から

### 心強い文化財のサポーター ～ 八街文化財同好会 ～

冷暖房もない収蔵庫で、暑いときも寒いときも、そんなことをいとわず熱心に活動されている八街文化財同好会（以下、同好会）の皆さんについて、恐縮ですが書かせていただきます。

八街特有の土ぼこりのため、まるでココアの粉でコーティングしたような資料は、収蔵庫の中でサラサラの土ぼこりにバックされた状態でした。同好会の皆さんが、鉄製品のサビや土ぼこりをきれいに落とし、鉄製品には油を塗ってサビ止め処理を施し、資料の名称を付けた札を付け、資料を分類して棚に収納します。

暑さ寒さの中、ほこりや油の汚れがついてしまう大変な作業です。ですが、皆さんは「この資料はなんだろう？」とか「どんなふうに使っていたのか？」と和気あいあいと楽しみながら作業をしています。ほこりのついた資料がみるみる綺麗になると、自分の心も綺麗になったような気がします。

同好会の皆さんはすごく元気で、若い私が圧倒されてしまうほどです。逆に皆さんから元気をいただいているのかもしれませんが。私も資料もよみがえらせることのできる人達・・・そんな同好会の皆さんは、資料だけでなく、人にも元気を与える素敵な資料館のサポーターです。今後も同好会の皆さんを応援し、ワイワイと楽しみながら一緒に歩んでいきたいと思っています。

A. S

## ボランティアメッセージ

### 八街にきて

泉台 吉田 公一（八街文化財同好会 事務局長）

22年前、八街に引っ越してきた時、背もたれが板でできた車内での会話がとても懐かしく感じ（東北出身からか）、今では八街を第二のふるさとにしたいと思っています。あの当時、“やちまた”という読みかたも判らず“やちがい”や“やちまち”なんて呼んでいた思いがあります。この語源は何だろう？とリタイヤするまでの16年間“もやもや”と頭の中に残っていたのを覚えています。

語源については、明治新政府の政策による徳川幕府放牧地の開墾のとき、佐倉七牧の一つ柳沢牧と小間子牧が放牧地開墾の八番目ということで命名されたことが始まりのようだとか大まかながらわかりました。そんな中、“広報やちまた”で八街市内にある文化財についての講座（毎年年末ごろに社会教育課で開いている）があるのを知り、参加させて頂きました。

この講座で、地域的な八街から、古村に散在する文化財などの講義を受け、八街市の成り立ちを勉強できたことは、とても良かったと思っています。

八街市は、明治2年からの放牧地の開墾が始まりのようで、この放牧地に隣接している村々が合併してできたものでした。大きくは、開墾地と西側の隣接古村からなる八街村と南側の隣接古村である元旗本領や佐倉藩領の川上村が合併してできたものでした。

これを地域名で見ると、八街“い・ろ・は・に・ほ・へ”と付けられた地番と南側の大谷流、小谷流、勢田など、西側の富山、大関、榎戸などの地名で開墾地域か隣接古村かの違いがわかるのも面白い見方ようです。また、難しい読み方の地名も多く、八街〈ヤチマタ〉の市名も含めて、大谷流〈オオヤル〉、小谷流〈コヤル〉、用草〈モチクサ〉、砂〈イサゴ〉、文違〈ヒジカイ〉など、これら難しい地名を調べるのも八街を知るうえで面白いと思います。私も少しずつ難しい地名を調べてみたいと思っています。

そして、古村の多くに旧石器時代からの遺跡や馬頭観音さまなどの文化財、昔話が数多くあることを知りました。これらの文化財は、『八街の文化財ーやちまた歴史散歩ー』（八街市教育委員会）に書かれています。八街を知るうえで一読されるのもよいと思います。

私はいま、平成19年度の文化財ボランティア講座を受講したメンバーで始めた“八街文化財同好会”に入り、小冊子ーやちまた歴史散歩ーのなかを“ふれあいバス”を使いながら、メンバーと定期的に散策を行っています。なかなか楽しいものです。

これから、八街の生い立ちやどのように変わってきたのかを、少しずつ、にくづけをしながら勉強していきたいと思っています。八街は比較的新しい町のようなのですが、これから、私の第二のふるさととして育てて行きたいと思っています。

なにかまとまりのない散文になってしまいましたが、私の頭の中に入ってきた八街の大まかな生い立ちを書いてみました。何かの参考になればと思います。

平成22年2月

# 八街文化財同好会 “ふれあいバスで行く文化財探索”

八街文化財同好会の皆さんは、会独自の活動として市内外の文化財探索を実施し、文化財の学習のみならず、ふれあいバスの利用促進にも貢献いただいています。

平成21年9月と10月に実施した文化財探索の行程をご紹介しますので、興味のある方は、ぜひ参考にしてください。

## 富山・榎戸 昔話の道 探索

☆ふれあいバス“北コース”・“東コース”利用〔平成21年9月19日(土)実施〕

○行き	ふれあいターミナル	北コース	10:55	⇒	11:14	東富山
◎探索	貴船神社(富山)		11:25	～	11:35	
(徒歩)	佐倉同協社跡(富山)		11:40	～	11:45	
	泉台コミュニティセンター(泉台)		12:00	～	12:45	休憩(昼食)
	新蔵寺(榎戸)		12:55	～	13:20	
	大宮神社(榎戸)		13:30	～	13:45	
	北向き道祖神(榎戸)		14:00	～	14:15	
	十九夜講地藏・弁天地蔵(榎戸)		14:30	～	14:45	
	馬頭観世音菩薩像(榎戸)		14:55	～	15:05	
○帰り	東富山(東コース)		15:32	⇒	16:06	



新蔵寺山門前にて

ふれあいターミナル

## 御成街道散歩(沖・上砂・滝台方面)

☆ふれあいバス“西コース”利用〔平成21年10月24日(土)実施〕

○行き	ふれあいターミナル	西コース	10:50	⇒	11:15	沖十文字
◎探索	御成街道跡(沖)		11:25	～	11:45	
(徒歩)	方向案内標柱①「御成街道」(沖)		11:55			
	方向案内標柱②「御成街道」(沖)		12:10			
	上砂農村広場(上砂)		12:30	～	13:30	休憩(昼食)
	円寿坊跡(上砂)		13:40	～	13:50	
	御成街道の一里塚(上砂)		14:10	～	14:20	
	小間子馬神社(四木)		14:35	～	14:45	
	びんだらい池(滝台)		15:00	～	15:05	
	立看板「御成街道」(滝台)		15:15			
○帰り	丹尾台(西コース)		15:44	⇒	16:21	



御成街道の一里塚

ふれあいターミナル

## 文化財情報コーナー

### 榎戸獅子舞保存会と文違麦つき踊り保存会が表彰される!!

平成21年10月31日(土)、市中央公民館で開催された八街市定例表彰式で、榎戸獅子舞保存会と文違麦つき踊り保存会が八街市教育委員会から表彰されました。この表彰は、長年にわたる地域文化の伝承活動が評価されたもので、両団体は、これまで、市指定無形民俗文化財の保持団体としてその保存・継承活動に励んできました。なお、両団体の功績や無形民俗文化財の概要は、前号をご覧ください。



写真右側は文違麦つき踊り保存会阿部副会長(左)と榎戸獅子舞保存会押尾会長(右)

### “房総の郷土芸能2009”に文違麦つき踊り保存会が出演

平成21年12月5日(土)、香取市佐原文化会館で房総の郷土芸能2009が開催され、本市からは文違麦つき踊り保存会が出演し、麦つき踊りを披露しました。この行事は、県内各地で伝承されてきた優れた民俗芸能を一堂に集めて上演し、民俗芸能に対する理解と認識を深め、将来への保存・継承活動の推進と地域文化の活性化を目的に開催されたものです。この他、成田市の「伊能歌舞伎」と「西大須賀の神楽」、香取市の「おらんだ楽隊」と「木内神楽」、神崎町の「佐原囃子」、東庄町の「笹川の神楽」が上演され、観客を魅了しました。



### 『文化財ボランティア通信』を八街市ホームページに掲載

『やちまた文化財ボランティア通信』は、これまで、市役所内と市内の社会教育施設のみに設置していましたが、第3号発行後、第1号(創刊号)分から市の公式ホームページへの掲載を始めました。

今後も、発行次第、ホームページに掲載していきますので、どうぞご覧ください。



## 中央公民館に「郷土資料館」案内看板を設置

市の郷土資料館は、中央公民館や図書館と同じ敷地内にありますが、奥まった場所で、外観が古いプレハブ倉庫風のため、存在や場所がわからない方が多いようです。そこで、教育委員会では、本年3月、中央公民館の建物前に資料館の位置をお知らせする看板を設置しました。これまで、郷土資料館がどこにあるのかがわからずに行くことができなかった方は、この看板をたよりに、ご観覧ください。



郷土資料館では、常設展として、八街が海だった頃に堆積した貝化石、旧石器、縄文、古墳、奈良・平安、近代各時代の出土資料をはじめ、民具、昔の教科書、指定文化財など、八街の歴史を知る上で不可欠な資料を数多く展示しています。また、体験コーナーでは、大人も子どももできる勾玉の色ぬりや、奈良時代の上総国山邊郡の役所の印鑑「山邊郡印」の押印体験や模造品づくりをすることができます。

## まもなくカタクリが見頃です!!

市指定天然記念物「カタクリ群生地」では、そろそろカタクリが可憐な花を咲かせ、見頃を迎えます。「カタクリ群生地」は、砂区の日枝神社境内にありますが、詳しい行き方を教えてほしいという問い合わせが多く、近所にお住まいの皆さんは、道案内にとっても苦慮しているとのことでした。そこで、教育委員会では、旧砂消防機庫前から「カタクリ群生地」までの3か所に案内看板を設置しました。まだ、カタクリの花をご覧になったことがない方も、毎年ご覧になる方も、3月下旬から4月上旬頃に見頃を迎えますので、ぜひご観覧ください。なお、区域内のカタクリは、条例で採取を禁止していますのでご注意ください。

(カタクリ群生地までの道のりに設置した看板群)



発芽したてのカタクリ



カタクリの花のつぼみ



旧砂消防機庫前



本源寺前



中間地点

この通信紙に対するご意見・ご要望、または、文化財保護やボランティア活動に対する思い、ご意見・ご要望などがありましたら、社会教育課文化財班へお寄せください。可能な限りこの通信紙に掲載して、皆さんへお届けします。☐

### やちまた文化財ボランティア通信 第4号

発行日 平成22年3月29日

編集・発行 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35番地29

八街市教育委員会 社会教育課 文化財班

Tel : 043-443-1464 Fax : 043-443-1448

e-mail : shakyo@city.yachimata.lg.jp